

総合分析実験センター

生物資源開発部門

原著論文

- 1 *Ding Y, Yamada S, Wang KY, Shimajiri S, Guo X, Tanimoto A, Murata Y, Kitajima S, Watanabe T, Izumi H, Kohno K, Sasaguri Y: Overexpression of peroxiredoxin 4 protects against high-dose streptozotocin-induced diabetes by suppressing oxidative stress and cytokines in transgenic mice. *Antioxid. Redox Signal.* 13: 1477-1490, 2010.
- 2 *範 江林, 小池智也, 西島和俊, 北嶋修司: 医学研究における遺伝子改変ウサギの応用とその展望. *アニテックス* 22: 11-15, 2010.
- 3 北嶋修司, 西島和俊: ウサギ精子・胚の凍結保存とバイオリソース. *アニテックス* 22: 32-37, 2010.
- 4 Nishijima K, Kuwahara S, Ohno T, Kitajima S, Sumi Y, Tanaka S: Aging change of mandibular condyle in female F344/N rat. *Arch. Gerontol. Geriatrics* 51: e11-e15, 2010.
- 5 西島和俊, 山口慎二, 森本正敏, 渡辺照男, 北嶋修司: 遺伝子改変ウサギの系統維持のための精子凍結保存の有用性に関する検討: 約5.6年間凍結保存された遺伝子組換えウサギ由来精子を用いた人工授精成績. *九州実験動物雑誌* 19: 35-39, 2010.
- 6 *鶴田敏幸, 峯 博子, 青柳孝彦, 北川範仁, 可徳三博: スポーツ選手における肘内側側副靭帯再建術後成績. *日本臨床スポーツ医学会誌* 18: 490-496, 2010.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Matsuda S, Yamashita A, Kitajima S, Fan J, Asada Y: Human C-reactive Protein Enhances Thrombus Formation In Transgenic Rabbits. AHA Scientific Session 2010. 2010, 11, 13-17. *Circulation* 122: A12227.
- 2 *Nakahashi S, Miyazaki N, Kitagawa N, Haraga I, Nitahara K, Higa K: Skin lesions on the back along epidural catheter: report of four patients. 13th Asian Australasian Congress of Anesthesiologists 2010. 2010, 6, 3-5. AP11-7.

国内全国規模の学会

- 1 北嶋修司, 西島和俊, 劉 恩岐, 小池智也, 森本正敏, 渡辺照男, 範 江林: 佐賀大学におけるヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と保存状況について. 第57回日本実験動物学会総会. 2010, 5, 14-16. *Exp. Anim.* 59: S72.
- 2 *Koike T, Kitajima S, Yu Y, Nishijima K, Waqar AB, Inoue T, Wang Y, Zhang B, Kobayashi J, Masatoshi M, Saku K, Watanabe, T, Fan J: Expression of Human ApoAII in Transgenic Rabbits Leads to Dyslipidemia -A New Model for Combined Hyperlipidemia. 第42回日本動脈硬化学会総会・学術集会. 2010, 7, 15-16. *プログラム・抄録集* 232.
- 3 *Matsuda S, Kitajima S, Koike T, Fan J, Asada J: Human C-reactive protein enhances thrombus formation in transgenic rabbits. 第42回日本動脈硬化学会総会・学術集会. 2010, 7, 15-16. *プログラム・抄録集* 234.
- 4 *田中 慎, 西島和俊, 大野民生, 北嶋修司: ウサギの大腿骨特性について. 第57回日本実験動物学

会総会 . 2010 , 5 , 14 16 . Exp. Anim . 59 : S46 .

- 5 *峯 博子, 青柳孝彦, 北川範仁, 可徳三博, 鶴田敏幸: 若年者 Freiberg 病に対する自家骨移植術の治療成績 . 第21回日本臨床スポーツ医学会 . 2010 , 11 , 6 7 . 日本臨床スポーツ医学会誌 18 : S187 .

地方規模の学会

- 1 西島和俊, 小池智也, 山口慎二, 森本正敏, 渡辺照男, 範 江林, 北嶋修司: ヒト apoA II 遺伝子導入ウサギの特性: ヒト家族性複合型高脂血症の新規モデル動物 . 第28回九州実験動物研究会総会 . 2010 , 10 , 23 . 九州実験動物雑誌 26 : 75 .
- 2 山口慎二, 前田達弘, 西島和俊, 森本正敏, 北嶋修司: ウサギ凍結精子を用いた人工授精成績の向上に関する検討 . 第28回九州実験動物研究会総会 . 2010 , 10 , 23 . 九州実験動物雑誌 26 : 72 .

その他の学会

- 1 *松田俊太郎, 山下 篤, 北嶋修司, 小池智也, 範 江林, 浅田祐士郎: ヒト C 反応性蛋白は心血管疾患における血栓形成に影響を与えるか? 遺伝子改変ウサギを用いた動脈硬化性血栓形成の検討 . 第4回ウサギフォーラム . 2010 , 7 , 24 . 抄録集 1 .
- 2 松田幸久, 稲垣秀晃, 柴田淑子, 北嶋修司, 西島和俊: 受精卵移植による秋田大型ウサギの SPF 化 . 第4回ウサギフォーラム . 2010 , 7 , 24 . 抄録集 10 .
- 3 西島和俊, 山口慎二, 森本正敏, 渡辺照男, 北嶋修司: 長期保存された遺伝子改変ウサギ凍結精子の受精能の検討 . 第4回ウサギフォーラム . 2010 , 7 , 24 . 抄録集 9 .

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
准教授	北嶋 修司	科学研究費補助金	基盤研究 C	ヒト疾患モデルウサギの精子バンク構築に向けての関連技術の整備	1 200
准教授	北嶋 修司	科学研究費補助金	基盤研究 B (分担)	内皮リパーゼを標的とした動脈硬化治療法の新たな戦略 遺伝子改変ウサギを用いた研究	750
准教授	北嶋 修司	厚生労働科学研究費補助金	創薬基盤推進 研究事業 (分担)	急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソースの樹立	1 840
助教	西島 和俊	科学研究費補助金	若手研究 B	ヒト Apo CIII Tg ウサギ founder line の作製と繁殖	500
助教	西島 和俊	科学研究費補助金	基盤研究 C (分担)	急性冠症候群克服の疾患特異的 MMP の探索 遺伝子改変ウサギを用いた研究	900

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
助教	西島 和俊	九州実験動物研究会 山内・半田賞	ヒト apoA II 遺伝子導入ウサギの特性: ヒト家族性複合型高脂血症の新規モデル動物

機器分析部門

原著論文

- 1 市場正良, 近藤敏弘, 次富久之, 淵上篤信, 武藤文博, 松本茜子, 井上明子, 弥富美奈子, 藤井敦成, 上野裕之, 松本明子: 医療現場におけるホルムアルデヒド曝露作業者の個人曝露濃度測定評価. 産業医学ジャーナル, 33: 74-79, 2010.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Shimazaki-Tokuyama Y., Inoue Y., Hirayama R., Furusawa Y., Ide H. and Terato H: Yields of clustered DNA damage induced by heavy particle beams under various conditions. 37th International Symposium on Nucleic Acids Chemistry, Yokohama, Japan. 2010, 11, 10-12.

国内全国規模の学会

- 1 近藤敏弘, 上野大介, 寺東宏明, 岡島俊哉, 石崎妃呂美, 井上明子, 上野裕之, 甲斐今日子, 西條泰明, 市場正良: 学校教室内の空気環境と児童の自覚症状との関係. 第80回日本衛生学会. 2010, 5, 10. 日衛誌. 65. 348.
- 2 寺東宏明, 島崎 徳山由佳, 井上侑子, 平山亮一, 古澤佳也, 井出 博: 粒子線によって生じるクラスター DNA 損傷の収率と性質. 第24回日本宇宙生物科学学会大会. 2010, 9, 17-18.
- 3 寺東宏明, 島崎 徳山由佳, 井上侑子, 齊藤 剛, 西岡伸紘, 岡本敦志, 鈴木克之: 放射性耐性細菌 *Rubrobacter radiotolerans* のスーパーオキシドディスムターゼの遺伝子構造と遺伝子産物の機能. 第53回日本放射線影響学会大会. 2010, 10, 20-22.
- 4 *中野敏彰, 川添淳也, 大内 綾, 寺東宏明, 飯島健太, 田内 広, 井出 博: DNA タンパク質クロソリンク損傷の修復機構. 第53回日本放射線影響学会大会. 2010, 10, 20-22.

地方規模の学会

- 1 寺東宏明, 徳山由佳, 井上侑子, 近藤敏弘: 放射性耐性細菌 *Rubrobacter radiotolerans* のスーパーオキシドディスムターゼの機能と遺伝子構造. 第34回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム. 2010, 9, 9-11.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
准教授	寺東 宏明	科学研究費補助金	基盤研究C	チミン酸化損傷5 ホルミルウラシルに対する生体内修復機構 FO システムの全容解明	1,370

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
准教授	寺東 宏明	平成22年度日本放射線影響学会寺島論文賞	Terato H., Tanaka R., Nakaarai Y., Nohara T., Doi Y., Iwai S., Hirayama R., Furusawa Y. and Ide H. (2008) Quantitative analysis of isolated and clustered DNA damage induced by gamma-rays, carbon ion beams, and iron ion beams. J. Radiat. Res., 49, 133-146